

2019年7月25日

「特別調査」

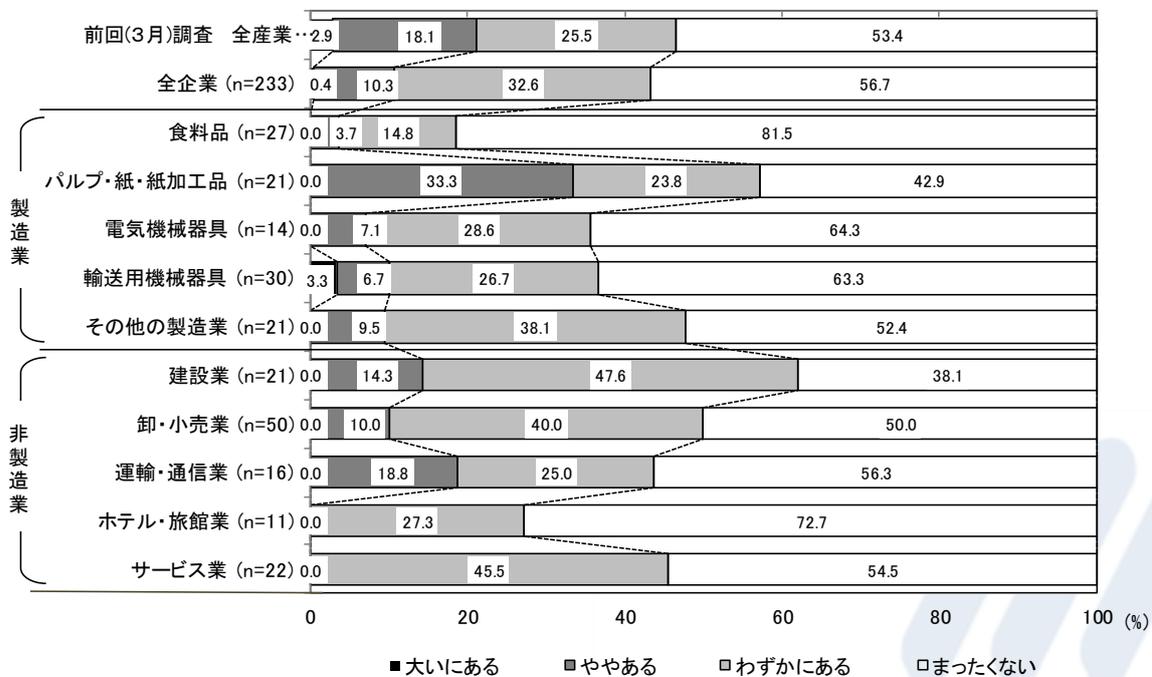
消費増税に伴う駆け込み需要の動き

静岡経済研究所（理事長 一杉逸朗）では、6月に実施した「消費増税に関する特別調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

駆け込み需要の動き

- 前回調査（2019年3月）に引き続き、県内企業に、10月の消費増税に伴う駆け込み需要の動きについて聞いたところ、動きがあるとの回答は43.3%と、前回調査（46.6%）から大きな変化はなかった。
- 業種別では「建設業」で最も多く、「パルプ・紙・紙加工品」、「卸・小売業」が続いた。一方、「食料品」「ホテル・旅館業」で動きがあるとの回答は3割未満にとどまるなど、業種によってばらつきがみられる。

図表 消費増税に伴う駆け込み需要の動き



注) 調査方法は、アンケート調査による。アンケート調査の概要は、以下の通り。
 調査時点…2019年6月
 回答企業…県内主要20業種（236社）

※本件のお問合せ先 担当（須藤 みやび）